美馬市 社協だより

ふくしの木

2023.9
No.44

広げよう福祉の輪 つなげよう地域の輪

毎月1回～小星周辺地区合同活動（研修・体操・座談会）～
小星ベースが活動拠点!

毎月1回～宮成いきいきサロン～
地域の空き家を活用しています。

地域には、定期的に活動している「通いの場」があります。

毎日開催～美馬囲碁同好会～
郡里地域活動センターにて

毎月1回～コンディショニング体操～
谷口公民館・川井公民館にて

CONTENTS

P1　会長あいさつ／理事・監事、評議員改選のご報告
P2　事業報告／決算報告
P3　在宅福祉サービス課お知らせ
P4　介護予防サポーター養成・フォローアップ研修会報告／共同募金配分金／災害ボランティア事前登録
P5　各団体紹介
P6　地域の福祉活動紹介／実習生受入報告
P7　社協会費／善意銀行

社会福祉法人 美馬市社会福祉協議会

会長あいさつ

美馬市社会福祉協議会
会　長　**大垣　賢次郎**

このたび、理事会の役員改選におきまして、引き続き会長を務めさせていただくことになりました、大垣賢次郎でございます。就任にあたり、その重責に身の引き締まる思いであります。

今、美馬市を取り巻く状況に目を向けますと、人口減少、少子高齢化が進行し、在宅生活や介護予防等の地域支援が必要とされる一方で、美馬市社会福祉協議会には多様化・複雑化する福祉ニーズに対する柔軟な対応が求められています。また、コロナ禍によって生活に困窮されている方々への支援や生活再建の手助けが急務となっており、地域生活課題は時代の変遷とともに増加しております。

本協議会といたしましては、気薄になった人と人との繋がりや、地域のつながりなどを再構築させ、「だれもが支え合いながら安心して暮らすことができる地域社会の実現」を目指して、私自身の経験を十分に発揮し、行政や関係機関と連携を図り、各種福祉事業を展開してまいりますので、これまでと同様に格段のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本協議会では『広げよう福祉の輪　つなげよう地域の輪』をキャッチフレーズに掲げ、住民やボランティアをはじめ関係団体の皆様と協働し、住み慣れた地域で安心・安全に「住んで良かった」と思っていただける美馬市になるよう、そして次の世代にまで引き継ぐことができるよう、これまで同様、役職員一丸となって努力する所存でありますので、市民の皆さまに、ご理解・ご協力を心よりお願い申し上げ、会長就任の挨拶とさせていただきます。

理事・監事、評議員 改選のご報告

＜理事・監事＞

任期満了に伴う改選により、次のみなさまが6月29日開催の評議員会において選任されました。

また、同日に開催された理事会において、会長に大垣賢次郎理事、副会長に岡建樹理事、常務理事に佐和良佳理事が選任されました。

任期は、令和5年6月29日の定時評議員会終結の時から、令和7年6月の定時評議員会終結の時までです。

新理事12名　（敬称略）

氏　名	選出区分	氏　名	選出区分
岡　建樹	行政機関	佐藤　昭	ボランティア関係
村岡　直美	教育関係団体	郷司千亜紀	学識経験者関係
土井池弘次	民生委員・児童委員関係	森　廣一	学識経験者関係
三宅　武夫	福祉関係団体	藤本　博明	学識経験者関係
塩見　一義	福祉施設役職員	大垣賢次郎	学識経験者関係
阿部　義則	ボランティア関係	佐和　良佳	学識経験者関係

新監事2名　（敬称略）

氏　名	選出区分	氏　名	選出区分
澤田　篤也	学識経験者関係	藤野　和良	学識経験者関係

＜評議員＞

評議員の一部の方が退任されたため、次の皆さまが6月16日開催の評議員選任解任委員会において選任されました。

任期は、同日から、令和7年6月の定時評議員会終結の時までです。（前任者の残任期間）

新評議員4名　（敬称略）

氏　名	選出区分	氏　名	選出区分
原　美智代	保健・医療関係	眞鍋　美香	ボランティア関係
黒岩　誠治	ボランティア関係	堤　芳樹	ボランティア関係

令和４年度事業ならびに決算報告

令和４年度の事業ならびに決算が６月の理事会・評議員会で承認されました

令和４年度 事業報告（要旨）

❶組織の基盤強化と社協事業の総合的推進

○理事会・評議員会、財務管理検討委員会等各種会務を開催し、事業推進に向けて継続的に協議を重ね、組織の基盤強化を図った。また、事業の総合的推進に向けて次年度からの５カ年を期間とする第５次発展強化計画を策定した。
○地域福祉活動事業やボランティアセンター事業等地域住民の地域福祉活動に活用するための財源となる「社協会員会費募集」を行い、多くの市民に協力いただくことができた。
○市内７つの社会福祉法人定例会において協議を重ね、災害時対応についての研修会やコミュニティカフェの開催を行い、他法人との連携による社会貢献活動に継続して取り組んだ。

❷地域福祉力の向上と福祉人材の育成

○自主的に取り組む「ふれあい・いきいきサロン」や通いの場である「いきいき百歳体操」、地域の見守り活動である「小地域生活支援ネットワーク活動」に対する周知啓発・推進・継続支援を行うことで、地域のつながりや支え合い活動の再構築に取り組んだ。
○小地域生活支援ネットワーク代表者や自治会長等への「地域リーダー研修会」、介護予防の一役を担う「介護予防サポーター養成講座」、認知症への理解を深め協力者となる「（市民向け）認知症サポーター養成講座」を開催し、地域福祉を担う人材の育成に取り組んだ。福祉の専門職の育成として、実習生を受け入れソーシャルワーク実習を行った。
○地域福祉活動計画実行委員会では各地区各種行事に取り組み、第２層協議体として地域課題等を活動計画に一部盛り込み、２ヵ年延長計画を策定した。
○災害ボランティアセンターの設置検証、被災者支援シミュレーション等、災害に備えた研修を重ねると共に、自主防災会と連携して具体的な協議を重ね地域の支え合いマップの更新・作成に努めた。

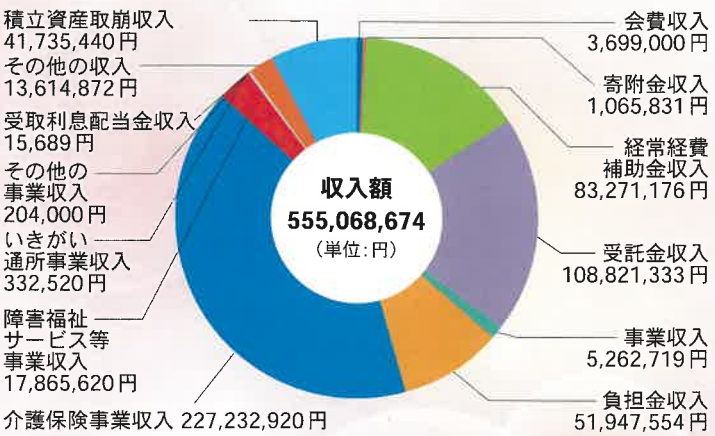
❸総合的な相談支援体制の確立と個別支援及び権利擁護の確立

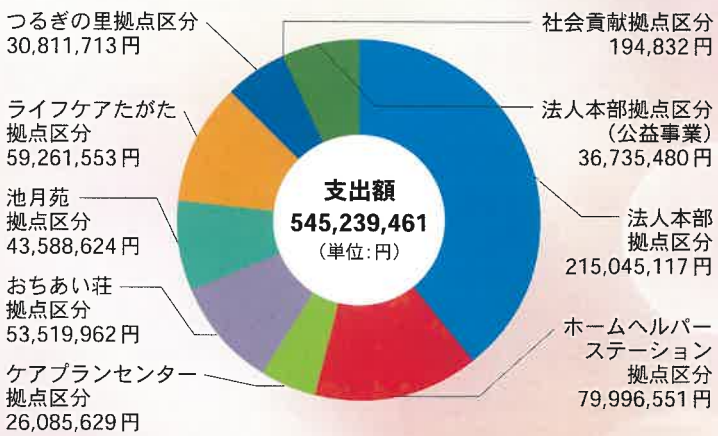
○ふれあい福祉総合相談では、電話相談にも対応した相談拠点５ヵ所の開設と、気になる世帯へのアウトリーチ（個別訪問活動）に取り組み、穴吹・美馬地区においては、福祉関係者への研修会を開催した。
○生活困窮者自立支援事業では、生活福祉資金特例貸付の償還免除や返還申請手続き等の支援と、相談内容から食料品提供など個々の状況に応じたフォローアップ支援に努めた。
○法人後見事業、日常生活自立支援事業では、関係機関や他職種との連携のもと、判断能力の不十分な高齢者や障がい者等の情報を共有し適切な支援に努めると共に、法人後見制度を広く普及・啓発するために研修会を実施した。

❹地域住民から必要とされる福祉サービスの提供

○訪問介護事業は、訪問中のヘルパーが利用者の些細な変化を感じ取り、その都度適切に対応することで、利用者の在宅生活が継続できるよう、円滑で信頼を得るサービス提供を行った。
○居宅介護支援事業は、生活課題を抱えている利用者の方に対し、民生委員・児童委員、自治会長、地域住民や関係機関と連携しながら課題解決に向けた継続的な支援を行った。
○通所介護事業は、利用者の個別計画を立て、また、本人からの聞き取りや家族、関係機関との間で利用者の状態や状況の情報交換を密に行いながら、利用者個々の変化に応じたサービス支援を行った。
○在宅福祉サービス企画調整事業は、各事業をサポートしつつ、職員の意識改革及び資質向上や、経営改善計画のもと収支改善支援を行った。

令和４年度 決算の概要





泉本マサエさん
生年月日/大正12年８月10日
自治会/中山路東

美馬市美馬デイサービスセンター「池月苑」をご利用されている泉本マサエさんが百歳のお誕生日を迎えました。
大垣会長からは百寿の祝い状や記念品、利用者や職員からはお祝いの歌をプレゼント、またお祝いの食事会も全員で楽しみました。
会長から「楽しみは何ですか」と言う質問に、「デイサービスに来てお風呂に入ることです」とお元気な声でお答えいただきました。
これからもお元気でデイサービスにお越しください。

美馬市社協脇町ホームヘルパーステーションからのお知らせ

ホームヘルパーの仕事は「自立支援」が原則です。利用者様の持てる力を活かし、ご自身でできる事は行ってもらい、できない事を支援することが基本となります。
住み慣れた自宅で身体的にも社会的にも豊かな暮らしができるよう支援します。

訪問介護のサービスでは、次のようなことのお手伝いをすることができます。

●調理

●洗濯

●部屋の掃除

●食事の用意と片付け

入浴介助やおむつ交換等の身体介護も行っています。

【お問い合わせ】
(0883)55-0211

高齢者生活福祉センター 居住事業(生活支援ハウス)空室状況(9月１日現在)

対象者：美馬市内に居住するおおむね65歳以上のひとり暮らしの方又は夫婦世帯であって、高齢のため独立して生活することに不安のある方として登録を受けることができる方となります。

美馬市脇町
高齢者生活福祉センター
住　所／美馬市脇町
字西赤谷2232番地12
空室：夫婦部屋１室
電　話／0883-53-1211

美馬市穴吹
高齢者生活福祉センター
住　所／美馬市穴吹町
口山字田方110番地２
空室：夫婦部屋２室
電　話／0883-56-0188

美馬市木屋平
高齢者生活福祉センター
住　所／美馬市木屋平
字谷口257番地４
空室：個室３室・夫婦部屋１室
電　話／0883-68-3030

※居室の空き状況については常に変動がありますので、詳しい状況や内容については上記のセンターにお問い合わせください。

自分のため　家族のため　地域のため

令和５年度 介護予防サポーター養成研修会 フォローアップ研修会の報告

７月４日（火）の午前「介護予防サポーター養成研修会」、午後から「フォローアップ研修会」を実施しました。

養成研修では、ボランティア活動や美馬市の介護保険に関する基礎講話を受講した 17 名が介護予防サポーターとして登録いただきました。フォローアップ研修では、笑いヨガとストレッチ体操等を登録いただいている介護予防サポーター 38 名が体験しました。参加者からは、「ボランティアの理解が深まった。各種体操で楽しく体を動かすことができたので、地域の方に教えてあげたい。」と、心強い声をいただきました。本会では、介護予防に関する知識を深めて地域で活躍いただけるサポーターを養成・支援し、介護予防が根付いた地域づくりに向けた事業に取り組んでいます。

共同募金配分金事業　地域福祉推進公募配分金

本会では赤い羽根共同募金を活用し、市内で活躍する非営利団体（ボランティア・NPO・自治会等）に資金助成を行っています。

令和５年度に助成した団体は以下のとおりです。

- 脇町手話サークル
- 地域防災組織まちづくり消防Ｏ分団
- きらら老人クラブ
- 新町北自治会
- こおざとまちづくり百歳体操
- 重清東まちづくり協議会
- 野村よろず会
- はぐくみの会
- 美馬市更正保護女性会穴吹支部

※ 令和６年度の募集は、１月頃を予定しています。

令和５年度 共同募金のご協力について

今年度も、全国統一のスローガン**じぶんの町を良くするしくみ**の下、10 月１日から３月 31 日までの半年間、県下一斉に共同募金運動を行います。

共同募金会美馬市支部でも、募金活動を実施いたします。各家庭へお願いする「戸別募金」や「学校職域募金」など、様々な形でご協力を呼びかけています。お寄せ頂きました募金は県共同募金会を通じて、地域の様々な福祉活動などに活用させて頂きます。

市民の皆様の、あたたかいご協力をよろしくお願いします。

災害ボランティアセンター事前登録ボランティア募集
～オールとくしまプロジェクト～

「すべての県民がお互いに支えあい、地域の中でいきいきと暮らすことの出来る地域共生社会を実現する」ため、徳島県社会福祉協議会を中心に県内の社会福祉協議会で～オールとくしまプロジェクト～"を推進しており、その一つの取り組みとして"事前登録ボランティア"の募集を行っています。災害が発生した際に善意を効果的に被災された方に届けられるこの仕組みにご理解ご協力をよろしくお願いします。

【登録方法】

●スマートフォン等で QR コードを読み取り、登録項目に沿って入力。確認ボタンを押した後、登録完了のメールが届き完了となります。

【運用について】

●登録していただいた情報は、登録項目にある"活動可能地域"で選択した市町村社会福祉協議会と徳島県社会福祉協議会のみが管理・閲覧・運用できるものとなっており、各種情報提供や災害時における情報発信をさせていただきます。

各団体の紹介と会員募集

美馬市老人クラブ連合会

会員数:約3,100名

老人クラブでは仲間づくりを通して、生きがいづくり、健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動や地域を豊かにする社会活動に取り組んでいます。スマートフォンを使っての生活が普通になってきた現代社会において、その場でお買い物が出来たり気軽に旅行の予約が出来たりと便利になってきています。その反面、犯罪に巻き込まれる不安もあります。そこで、老人クラブでは、昨年より少人数単位でのスマホ教室を行っています。また、ミライズでの映画上映会など楽しい活動にも力を入れています。

60歳以上の方ならどなたでも入会できます。ぜひ、ご入会下さい。

スマホ教室

美馬市身体障害者連合会

会員数:約350名

美馬市身体障害者連合会では、「安心して『あたりまえ』の生活を」をスローガンに、身体障害者手帳の交付を受けた市民が入会し、会員相互の協力により、社会参加の促進、福祉の増進と親睦をはかることを目的として活動しています。

活動の一つとして、流行のボッチャなどを競技に取り入れた、スポーツ交流大会を行いました。個人戦でしたが仲間の応援にも熱が入っていました。毎月１回、カローリングの交流会も行っていますのでお気軽にご参加ください。会員になって一緒に活動しませんか。

スポーツ交流大会

美馬市遺族会

会員数:約300名

美馬市遺族会は、英霊顕彰、戦没者遺族及びその親族の福祉の増進、慰籍救済の道を開くとともに、市民の道義の高揚、品格の涵養に努め、もって平和日本の建設に寄与することを目的として活動しています。

主な活動としては、徳島県や美馬市の戦没者追悼式、徳島県護国神社例大祭などへ参加するほか、不定期ではありますが、徳島県遺族会記念館の日直当番や徳島県護国神社の美化活動等にも協力しています。

遺族会では、会員を常時募集しています。

戦没者追悼式

美馬市手をつなぐ育成会

会員数:約118名

美馬市手をつなぐ育成会は、知的に障がいのある方とその家族、支援者によって組織されています。障がい者ひとり一人の生活支援を進めるために活動しています。

育成会の行事として、毎週土曜日のチャレンジスポーツ、借用地で行う農作業、パークゴルフ、クリスマス会、防災研修、ボッチャ競技の講習会等を行っています。今後も研修会やあらゆる活動を重ね、地域の方々と協力して障がい者の住みよい社会にしていきたいと考えています。育成会では会員を募集しています。一緒にいろいろな活動をしませんか。

クリスマス会

美馬市母子寡婦福祉連合会

会員数:102名(母子30名寡婦72名)

美馬市母子寡婦福祉連合会は、ひとり親家庭並びに寡婦の生活の安定と福祉の向上を目指し、子どもたちの健やかな成長を支援するとともに、組織の充実強化とさらなる自立の促進をはかることを目的に、「できるときに、できることを、できる人が、できるところで」活動しています。活動の１つとして生活に困窮されている方に食料を提供し経済的支援を行ったり、運営に必要な資金確保のために物品（めんつゆ等）の販売協力を行っております。また、支部活動として料理教室、寄せ植え教室、フラワーアレジメント教室等に楽しく取り組んでいますので多数の参加をお待ちしております。

寄せ植え教室

社会福祉協議会内各団体事務局までお問い合わせください。
みなさんのご入会をお待ちしています。

電話:0883-53-7432　FAX:0883-53-6475

地域の福祉活動紹介
「東原自治会青年部」

お宝発見
2023年度

地域防災

地域の連携を図るために子どもから高齢者にも積極的に参加をお願いしています。

2022年度は、重清東地域活動センターにて沼田、荒川自治会との合同訓練を開催し、避難経路の確認、炊き出し訓練、応急訓練、消火訓練など様々な訓練を行いました。

実際に大勢の方が避難した際の課題の発見にもつながりました。

防災訓練

子育て支援

夏休みラジオ体操、野外活動、夏祭り、BBQ等の企画、計画、準備の支援をして子どもと一緒に楽しんでいます。

６年生を送る会も開催しています。

毎年12月第1日曜の馬寄せにあわせて、子どもみこしで地域をまわります。

お昼には、伝統の東原カレーも！

午後は、馬寄せ会場にて相撲大会、ビンゴ大会、福投げに参加。

３年に一度は、福投げのお餅つきもして五穀豊穣を祈願しています。

伝統行事を絶やさぬように皆さんのご協力により続いています。

少子高齢化の中、人と地域のつながりを大切にみんなが集える活動を今後も計画していきますので、気軽にご参加ください！

◀2022年度青年部長　逢坂　和昌さん

実習生受入報告

本会では、将来の地域福祉を担う人材の育成支援を行っています

社会福祉士を目指す、徳島文理大学３年生福田君が、1ヵ月間（7/31 ～ 9/1）のソーシャルワーク実践実習を終えました。地域の皆さまと温かいふれあいの中、現場における実践を学んでもらいました。

福田君からは、「将来は、社会福祉協議会に就職をしたいです。」との、頼もしい声をいただいています。

おしきり作業のお手伝い

「社協会員の募集」と「会費」のご協力のお願い

社協会員会費は地域福祉推進の基盤となります。

美馬市社会福祉協議会の運営は、市民の皆さまからの社協会員会費をはじめ、美馬市や徳島県社会福祉協議会からの補助金や委託金、寄附金等でまかなわれております。

"住民主体"の地域福祉活動の実施のため、会員制度をとっています。今後、さらに充実した事業をすすめていくためにも、ご理解ご協力をお願いいたします。

◇**会　員　の　区　分**　　普通会員（会費一口500円）、特別会員（会費一口1,000円）

全世帯のみなさまに普通会員として加入をお願いしています。その中で、特に社協の福祉事業推進にご賛同ご協力いただける方は、特別会員として、ご協力をお願いします。

◇**会員募集推進期間**　　10月1日（日）～12月22日（金）

会員会費の募集は、年間を通して行っています。

※自治会一括納入の自治会会員把握のために、会員名簿の提出をよろしくお願いいたします。

皆さまからお寄せいただいた会費は、様々な地域福祉活動に活用させていただいています。

地域福祉活動計画

自主防災組織活動助成

- 社会福祉大会開催
- 社協広報費
- ふれあい福祉総合相談
- 県社会福祉大会
- 地域共生社会実現事業
- 発展・強化計画
- ボランティア活動事業

会費納入にご協力ください。

善意銀行

～あなたの善意をお預けください～

善意銀行では、市民のみなさまからのご寄附（金銭や物品等）をお寄せいただいています。ご寄附いただいた善意を効果的に社会福祉に活用し、地域社会の福祉増進に資することを目的に払い出しを行っています。

令和4年度は、次の善意が寄せられました。

一般寄附金7件　1,065,831円、物品預託91件（内食料品　54件）

ありがとうございました。

お寄せいただいた善意は、住宅火災等の見舞金、地域福祉活動事業、緊急用食料品等給付事業、地域支援事業等に使われています。また、食料品、日用品等については、生活困窮者世帯の状況に応じて適宜提供させていただきました。

第四十四号　発行日／令和五年九月　発行／社会福祉法人美馬市社会福祉協議会　〒七七九－三六一〇徳島県美馬市脇町大字脇町一二六五番地一
電話（〇八八三）五三－七四三一　FAX（〇八八三）五三－六四七五　e-mail　mimashi@tokushima-shakyo.jp